

## 岩手県雫石町のトンボ相 (3) —ルリイトンボとオオトラフトンボの初記録を含めて—

佐々木全<sup>1</sup> 佐々木悠太<sup>1</sup> 渡辺修二<sup>2</sup>

Dragonfly Fauna in Shizukuishi Town, Iwate Prefecture: Part III: Including First Records of *Enallagma circulatum* Selys, 1883 and *Epitheca bimaculata* (Charpentier, 1825)

SASAKI Zen\*, SASAKI Yuta, WATANABE Shuji

<sup>1\*</sup> 岩手県滝沢市 Takizawa City, Iwate Prefecture, Japan. Email: zen.tonnbo@gmail.com

<sup>2</sup> 岩手県立博物館

### Abstract

A survey was conducted at Nanatsu-mori Shinrin Park in Shizukuishi Town, Iwate Prefecture, as a continuation of previous investigations. The aim of the survey was to clarify the dragonfly fauna of the area. As a result, 45 species from 10 families were recorded, of which 4 species from 4 families were new records for Shizukuishi Town. This brings the total number of species in Shizukuishi Town to 55 species from 10 families.

### はじめに

筆者らは、岩手県雫石町におけるトンボ相を明らかにすることを目的とし、これまでに御所湖周辺の町内 2 地区(雫石地区と御所地区)における調査を実施し、希少種であるマダラヤンマやハネビロエゾトンボ、さらに、近年岩手県内内陸部での分布拡大が推測されるネキトンボ含む 10 科 51 種を確認、報告している (佐々木ほか 2023, 2024a, 2024b, 2025)。

本稿はその継続調査であり、新たな記録を追加して報告するものである。

### 方法

調査地は、同町雫石地区の七ツ森に所在する七ツ森森林公園における 2 か所とした。すなわち、①南側に位置する池とその周辺の林道である。ここは過去の調査地である (佐々木ほか 2023, 2024a)。以下「南側調査地」と記す。②北側に位置する沼とそれに連なる細流や湿地帯、その周辺の林道である。また、ここに隣接する林道や用水路周辺を含めた。以下「北側調査地」と記す。なお、両調査地は低山を挟む位置にある。

調査の時期は、2025 年 4 月~10 月とし、各調査地に

つき 1 回 1 時間程度、月 2 回程度を原則としつつ、必要に応じて回数を増やして訪問した。

確認した個体は目視または捕獲し、「ネイチャーガイド 日本のトンボ」(尾園ほか 2022)に基づき種と雌雄の別を同定した。捕獲した個体は、写真撮影をした後リリースした。写真撮影は、自動で撮影日および位置情報が記録されるよう設定されたカメラを用いた。個体数については、「1 頭 (単独)」「2~3 頭 (少数)」「4~9 頭 (普通)」「10 頭以上 (多数)」として概算にて記録した。

なお、一部の種については、リリースの際に、翅に個体識別のために採集場所を示すアルファベット 1 文字と、採集月日と頭数を表す数字列 (例:「南側調査地」にて 5 月 15 日採集の 2 頭目であれば、y515-2) を記した。

### 結果

本調査では、南側調査地においては 10 科 40 種、北側調査地においては 9 科 27 種がそれぞれ確認された。このリストを以下並びに表 1 に示した。種の掲載順及び学名は「ネイチャーガイド 日本のトンボ」(尾園ほか

2022)に従った。なお、過去調査と本調査における確認の回数を比較するために、確認種ごとの確認回数と確認率(確認率=確認回数÷調査回数×100)を算出し、これを記した。

#### アオイトトンボ科 Lestidae

オツネイトンボ *Sympecma paedisca* (Brauer, 1877)  
ホソミオツネイトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris, 1916)

アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann, 1823)  
オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys, 1883

なお、オツネイトンボは、南側調査地において非調査日に確認され(1♂, 27. IV. 2025, 第二筆者採集), これを記録として加えた。

#### カワトンボ科 Calopterygidae

ニホンカワトンボ *Mnais costalis* Selys, 1869  
ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys, 1853  
ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys, 1853)

なお、ニホンカワトンボは、北側調査地において多数確認されたが、その大半が橙色翅型であった。

#### モノサシトンボ科 Platycnemididae

モノサシトンボ *Pseudocopteryx annulata* (Selys, 1863)

なお、モノサシトンボは、両調査地において多数確認された。

#### イトトンボ科 Coenagrionidae

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys  
エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum* (Selys, 1872)  
オゼイトトンボ *Coenagrion terue* (Asahina, 1949)  
クロイトトンボ *Paracercion calamorum* (Ris, 1916)  
ルリイトトンボ *Enallagma circulatum* Selys, 1883  
アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer, 1865

なお、本科は、北側調査地において確認されなかった。キイトトンボは南側調査地において2年ぶりに確認されたが、個体数は比して少なかった。ルリイトトンボは、南側調査地において確認され、雫石町初記録であった(1♂, 13. VII. 2025, 第一著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332330; 写真1)

#### ヤンマ科 Aeshnidae

サラサヤンマ *Sarasaeschna pryeri* (Martin, 1909)  
ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys, 1883)  
ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys, 1883)

オオルリボシヤンマ *Aeshna crenata* Hagen, 1856  
ルリボシヤンマ *Aeshna juncea juncea* (Linnaeus, 1758)

ギンヤンマ *Anax parthenope* (Selys, 1839)  
クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma, 1915

なお、サラサヤンマは、両調査地で確認されたが、北側調査地における林道での飛翔が頻回に確認された。ミルンヤンマは、南側調査地において1回の目撃に留まった。

ヤブヤンマは、過去の記録は死骸によるものだったが(佐々木ほか 2025), 両調査地において初めて生きた姿が確認された(1♂, 19. VII. 2025, 第二著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332331; 写真2)(1♀, 19. VII. 2025 採集:第一著者・岩手県立博物館所資料登録番号 332332)。

オオルリボシヤンマは、両調査地において頻回に確認された。その中で、北側調査地において採集し翅にマーキングした個体が2日後に南側調査地で確認された。(1♂, 16. VIII. 2025, 第二著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332333; 写真3)。これは両調査地を往来している可能性を示唆した。

#### サナエトンボ科 Gomphidae

ウチワヤンマ *Sinictinophus clavatus* (Fabricius, 1775)

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys, 1886  
オナガサナエ *Melligomphus viridicostus* (Oguma, 1926)

ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys, 1869)

コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys, 1869)

なお、ウチワヤンマは、南側調査地において4回の目撃があった。毎回同じ枝先に止まっていたが、採集には至らなかった(写真4)。

#### オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys, 1854)

なお、オニヤンマは、両調査地で多く確認された。30

エゾトンボ科 Corduliidae

オオトラフトンボ *Epitheca bimaculata* (Charpentier, 1825)

タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Forster, 1909

エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* (Uhler, 1858)

なお、オオトラフトンボは、雫石町初記録であり、南側調査地においてのみ確認された(1♂, 5. VII. 2025, 第二著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332334; 写真5)。なお、過去に羽化殻の採集(25. V. 2024, 第一著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332335; 写真6)があり、同調査地が産地である可能性が高い。

エゾトンボは、「北側調査地」においてのみ確認された(1♂, 19. VII. 2025, 第一著者採集・岩手県立博物館所資料登録番号 332336; 写真7)。過去には、南側調査地において採集されており(佐々木ほか 2023), 両調査地を往来している可能性を念頭に引き続き注視したい。

ヤマトンボ科 Macromiidae

オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* (Brauer, 1865)

コヤマトンボ *Macromia amphigena* Selys, 1871

なお、オオヤマトンボは、南調査地において非調査日に確認され(1♂, 30. VII. 2025, 第二著者採集・写真8), これを記録として加えた。

コヤマトンボは、両調査地で確認され、雫石町初記録であった(1♂, 28. VI. 2025, 第二著者採集; 写真9)。

トンボ科 Libellulidae

ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys, 1883)

リスアカネ *Sympetrum risi* (Bartenev, 1914)

ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys, 1883)

アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys, 1883)

マユタテアカネ *Sympetrum eroticum* (Selys, 1883)

ネキトンボ *Sympetrum speciosum* Oguma, 1915

コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister, 1839)

ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia* Drury, 1770

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798)

ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys, 1878)

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum* (Selys, 1848)

シオヤトンボ *Orthetrum japonicum* (Uhler, 1858)

オオシオカラトンボ *Orthetrum melania* (Selys, 1883)

なお、リスアカネは、雫石町初記録であり、北側調査地において1回のみで確認された(1♂, 14. VII. 2025, 第二著者採集; 写真10)。

ネキトンボは、南側調査地において確認された(1♂, 2. VIII. 2025, 第二著者採集; 写真11)。これは2023年の初記録(佐々木ほか 2024b)に続く確認であり、岩手県内陸部における本種の定着を支持するものである。

考察

本調査で確認された10科45種と過去調査による既知種(佐々木ら 2023, 2024a, 2024b)を照らし合わせると、雫石町の既知種は10科55種となった。このうち、雫石町における新記録は4科4種、すなわち、ルリイトンボ、オオトラフトンボ、コヤマトンボ、リスアカネであった。なお、本稿は雫石町の山間部を除く地域を対象としたものであり、雫石町千沼ヶ原等での確認種を含めていない。山間部での採集記録を含むデータとの統合については今後着手予定である。

また、確認された種のうち、岩手レッドデータブック(岩手県環境生活部自然保護課 2025)に記載のある希少種は、ルリイトンボ(留意)、サラサヤンマ(留意)、エゾトンボ(留意)であった。

雫石町における既知種のうち、ハネビロエゾトンボは過去に南側調査地で確認され(佐々木ほか 2024b)、北側調査地に含まれる細流が生息地として予測されたが、本調査では確認には至らなかった。その他確認されなかった既知種である、オオイトトンボとミヤマアカネは過去調査では南側調査地での確認があるが、そもそも個体数が少ないと考えられる。また、雫石町の御所地区で確認されたモートンイトトンボ、マダラヤンマ、ミヤマサナエ、チョウトンボ、マイコアカネ、コフキトンボ、ヨツボシトンボは、今回の調査では確認されなかった。

確認率をみると、多少の変動はあるものの、短期的な変動についての評価は難しい。引き続きデータを蓄積し改めて検討したい。これに関わり、南側調査地においては、2024年に周辺の樹林が伐採され、池周辺の日照時間が増え、日向と日陰のエリアのコントラストが一層明確になっているが、このことのトンボ相への影

響について検討する必要があるだろう。例えば、現時点では、第一筆者と第二筆者の印象に留まるが、ヤブヤンマ、コシアキトンボやショウジョウトンボが目立っていたことなどである。

今後、雫石町のトンボ相についてその信頼性を担保するためにも、確認種の産地について特定する必要があるだろう。その際、種によっては、両調査地を往来している可能性があることに留意したい。

## 引用文献

岩手県環境生活部自然保護課（2025）いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 2025 版. 岩手県環境生活部自然保護課, 岩手県.

尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮（2022）ネイチャーガイド日本のトンボ改訂版. 文一総合出版, 東京.

佐々木 全・渡辺修二（2022）岩手県盛岡市「尾入野野生植物園」のトンボ相-. 岩手大学教育学部研究年報 81: 83-95.

佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二（2023）岩手県雫石町のトンボ相-準絶滅危惧種マダラヤンマの新たな採集記録を含めて-. 岩手県立博物館研究報告 40: 7-11.

佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二（2024a）岩手県内陸部におけるネキトンボの記録. 月刊むし 636: 49-50.

佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二（2024b）岩手県におけるハネビロエゾトンボの2例目の記録. 月刊むし 645: 53-54.

佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二（2025）岩手県雫石町のトンボ相（2）ーウチワヤンマなどの追加記録を含めてー. 岩手県立博物館研究報告 42: 23-29.

## 要 旨

岩手県雫石町におけるトンボ相を明らかにすることを目的とし、これまでの調査の継続として雫石町七ツ森森林公園において調査を実施した。その結果、10科45種が確認され、そのうち4科4種は雫石町での初記録であった。これにより、雫石町における既知種は10科55種となった。

キーワード：トンボ相，雫石町，ルリイトトンボ，オオトラフトンボ，コヤマトンボ，リスアカネ



写真1 ルリイトトンボ♂（雫石町七ツ森産）



写真2 ヤブヤンマ♂（雫石町七ツ森産）



写真3 オオルリボシヤンマ♂（雫石町七ツ森産；両調査地を往来した個体）



写真4 ウチワヤンマ♂ (雫石町七ツ森産)



写真7 エゾトンボ (雫石町七ツ森産)



写真5 オオトラフトンボ♂ (雫石町七ツ森産)



写真8 オオヤマトンボ♂ (雫石町七ツ森産)



写真6 オオトラフトンボの羽化殻 (雫石町七ツ森産)



写真9 コヤマトンボ (雫石町七ツ森産)



写真10 リスアカネ♂（雫石七ツ森産, 2025. 8. 14 撮影）



写真11 ネキトンボ♂（雫石町七ツ森産）

表1 各調査地における確認種

科	種 (和名)	南側調査地					北側調査地					備考		
		過去調査 (2022年; 41回)	確認 回数	確認率 (%)	過去調査 (2023年; 39回)	確認 回数	確認率 (%)	本調査 (2025年; 38回)	確認 回数	確認率 (%)	本調査 (2025年; 29回)		確認 回数	確認率 (%)
アオイトトンボ科	オツネイトンボ	**♂♀	6	14.6	**♂♀	6	15.4		0	0.0	*♂	1	3.4	南側調査地において非調査日に確認(1♂, 27. IV. 2025)
	ホソミオツネイトンボ	****♂♀	9	22.0	****♂♀	13	33.3	***♂♀	15	39.5		0	0.0	
	アオイトトンボ		0	0.0		0	0.0	*♂	1	2.6		0	0.0	
	オオアオイトトンボ	***♂♀	11	26.8		8	20.5	**♂♀	6	15.8	**♂	1	3.4	
カワトンボ科	ニホンカワトンボ	*♂	1	2.4	**♂♀	3	7.7	*♀	1	2.6	****♂♀	7	24.1	北側調査地において確認された個体の大半が橙色翅型
	ミヤマカワトンボ	**♂♀	1	2.4	**♂♀	2	5.1	*♂	1	2.6	**♀	2	6.9	
	ハグロトンボ		0	0.0	**♂♀	2	5.1	*♀	1	2.6	*♂	1	3.4	
モノサシトンボ科	モノサシトンボ	****♂♀	14	34.1	****♂♀	18	46.2	****♂♀	20	52.6	****♂♀	15	51.7	
	キイトトンボ	***♂♀	5	12.2		0	0.0	**♀	2	5.3		0	0.0	
	エゾイトトンボ	****♂♀	10	24.4	*♂♀	12	30.8	****♂♀	25	65.8		0	0.0	
	オゼイトトンボ	**♂	1	2.4	**♂♀	9	23.1	*♂♀	8	21.1		0	0.0	
イトトンボ科	クロイトトンボ	****♂♀	17	41.5	****♂♀	18	46.2	****♂♀	16	42.1		0	0.0	
	オオイトトンボ		0	0.0	*♂	3	7.7		0	0.0		0	0.0	
	モートンイトトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	岩手レッドデータブック (準絶滅危惧)
	ルリイトトンボ		0	0.0		0	0.0	*♂	1	2.6		0	0.0	
	アジアイトンボ		0	0.0	**♂♀	5	12.8	**♂♀	5	13.2		0	0.0	磐石町初記録 (1♂, 13. VII. 2025)
	サラサヤンマ	*♂	1	2.4	**♂	2	5.1	*♀	1	2.6	***♂	4	13.8	岩手レッドデータブック (留意)
	ミルンヤンマ		0	0.0	*♀	2	5.1	*♂	1	2.6		0	0.0	
ヤブヤンマ		0	0.0	*♂	1	2.6	**♂♀	3	7.9	***♂♀	9	31.0	岩手レッドデータブック (絶滅危惧II類)	
マダラヤンマ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
オオルリボシヤンマ	****♂♀	16	39.0	****♂♀	20	51.3	****♂♀	15	39.5	****♂♀	11	37.9		
ルリボシヤンマ	***♂♀	6	14.6	**♂♀	7	17.9	**♂♀	3	7.9	*♂	4	13.8		
ギンヤンマ	**♂	4	9.8	**♂♀	5	12.8	**♂♀	3	7.9		0	0.0		
クロスジギンヤンマ	****♂♀	16	39.0	****♂♀	13	33.3	****♂♀	13	34.2	*♂	1	3.4		
サナエトンボ科	ウチワヤンマ		0	0.0	**♀	1	2.6	**♂♀	4	10.5		0	0.0	
	コオニヤンマ	***♂♀	13	31.7	***♂	4	10.3	**♂♀	5	13.2	**♂♀	3	10.3	
	オナガサナエ	*♂	1	2.4	**♂♀	2	5.1	*♂	2	5.3		0	0.0	
	ダビドサナエ	*♂	2	4.9		0	0.0		0	0.0	*♀	1	3.4	
	ミヤマサナエ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
	コサナエ	***♂♀	13	31.7	***♂♀	13	33.3	****♂♀	10	26.3	***♂♀	5	17.2	
	ミヤマサナエ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
オニヤンマ科	オニヤンマ	****♂♀	26	63.4	****♂♀	25	64.1	****♂♀	13	34.2		18	62.1	
エゾトンボ科	オオトラフトンボ		0	0.0		0	0.0	**♂	4	10.5		0	0.0	磐石町初記録 (25. VII. 2025)
	タカネトンボ	**♂♀	11	26.8	***♂♀	20	51.3	***♂♀	10	26.3	**♂♀	10	34.5	
	エゾトンボ	*♀	1	2.4		0	0.0		0	0.0	*♂	1	3.4	岩手レッドデータブック (留意)
	ハネヒロエゾトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	岩手レッドデータブック (留意)
ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	*♀	3	7.3	*不	2	5.1		0	0.0		0	0.0	南側調査地において非調査日に採集 (30. VII. 2025)
	コヤマトンボ		0	0.0		0	0.0	**♂♀	2	5.3	**♂	1	3.4	
トンボ科	チョウトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
	ナツアカネ	*♀	1	2.4	*♂	1	2.6	**♂	2	5.3	*♀	1	3.4	
	リリアカネ		0	0.0		0	0.0		0	0.0	*♂	1	3.4	磐石町初記録 (14. VIII. 2025)
	ノシメトンボ	****♂♀	31	75.6	****♂♀	26	66.7	****♂♀	24	63.2	****♂♀	19	65.5	
	アキアカネ	****♂♀	28	68.3	****♂♀	25	64.1	****♂♀	17	44.7	****♂♀	14	48.3	
	マユクダアカネ	**♂♀	16	39.0	**♂♀	13	33.3	**♂♀	11	28.9	**♂	3	10.3	
	マイコアカネ		0	0.0	**♂♀	2	5.1		0	0.0		0	0.0	
	ミヤマアカネ	***♀不	0	0.0	**♂	2	5.1		0	0.0		0	0.0	
	ネキトンボ		0	0.0	**♂	2	5.1	*♂	4	10.5		0	0.0	
	コシアキトンボ	**不	4	9.8	**♂♀	4	10.3	**♂♀	10	26.3	**♂♀	3	10.3	
	コフキトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
	ショウジョウトンボ	***♂♀	7	17.1	***♂♀	13	33.3	**♂♀	15	39.5		0	0.0	
	ウスバキトンボ	*♂	1	2.4	*♀	1	2.6		4	10.5		0	0.0	
	ハラビロトンボ	**♂♀	3	7.3	**♂♀	8	20.5	***♂♀	6	15.8		0	0.0	
	シオカラトンボ	*♂	1	2.4	**♂♀	9	23.1	**♂	4	10.5	*♂	1	3.4	
	シオヤトンボ	***♂♀	9	22.0	**♂♀	12	30.8	**♂♀	5	13.2	*♀	1	3.4	
	オオシオカラトンボ	**♂♀	11	26.8	**♂♀	13	33.3	**♂♀	16	42.1	**♂♀	7	24.1	
ヨツボシトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		

\*1頭(単独), \*\*2~3頭(少数), \*\*\*4~9頭(普通), \*\*\*\*10頭以上(多数)

不(性別不明)